

私たちの西地域

中津西
まちづくり
協議会



<https://nishi-machikyoo.com>

手賀野(手賀野上区, 第1区, 第2区, 会所ヶ丘区)

駒場(第3区, 後田区, 松源寺区, 大峽区, 共栄区, 第4区, 第5区, 西ヶ丘区, 大平区, 山手区, 桃山区, 第6区, 第23区)

中津西まちづくり協議会 「西地区防災の集い」を開催しました ～西小学校体育館で17の自主防災会関係者が HUG・段ボール組立てなどを体験～



防災情報や各避難所を運営するゲーム(HUG)の説明をきく皆さん

マンホールトイレのテントや屋内テントも組み立て

令和6年11月9日、西小学校体育館で「西地区防災の集い」を開催。地区内17の自主防災会長、防災士や地域の防災に関わる人たちなどが参加しました。

避難所とされる西小学校・第一中学校・サンライフ・中津商業のフロア図をもとに4つのテーブルに分かれて避難所運営ゲーム(HUG)を体験。参加者は避難所でのさまざまな状況を想定して具体的に避難所運営を学び、課題などについて意見交換しました。

特に、高齢者や体調不良の人だけでなく、親を亡くした子供、身体の不自由な人も避難してくること、そして安否の問合せへの対応も簡単ではないし、ペットや多文化社会での課題などもあることなど、なかなか難しい場面が想定されます。



自主防災会(区)ごとに分けたり、通路確保やトイレ、食料や支援物資の受け取りと配付のこと、そして、テントを張りたい、車中泊したいなどの希望者が勝手に外スペースを使いたしたらどうするかといったことも話題にしました。

皆さんは、避難所運営マニュアルや「受付」の大切さを再確認ただけでなく、11月上旬の時期でも体育館の床がとても冷たいことを実感しながら、みんなで間仕切り段ボールやマンホールトイレ、テントなどの設営体験も行いました。

このような取り組みが参考になり、各避難所の体制や動き、資機材などについてより多くの人々が身近な課題として受け止め、各家庭や自主防災会で話し合っていたできるようにこれからも活動に取り組みます。



避難所に見立てた平面図で様々な避難者や場面を検討

※この広報は市の「地域一括交付金」を活用しています

●西小学校のグラウンドや体育館で“西地区防災フェスタ”イベントを開催！

初めての取り組みである“西地区防災フェスタ”は「地域住民の交流と防災意識の向上」をコンセプトに地域の若者が企画し、住民や団体、事業者のみんなで作る交流イベントとして12月7日(土)に開催。中津西まちづくり協議会もこのイベントに後援するという形でしたが、実行委員会のお手伝いや資機材、費用の協力をしました。



実行委員会委員長挨拶、開会宣言でフェスタ開始

防災スタンプラリー

起震車で地震体験



消防コーナー



JINRIKI (車イス補助具)



簡易トイレづくり



警察コーナー



中津川太鼓

イベント当日は時折り小雨も降って寒い中でしたが、来場された方たちは《にじいろマルシェ》の色々なお店でグルメや買い物、スタンプラリーで防災体験などを楽しんでいました。

まち協の“より場ごはん場 ほっかほか”も、暖かい豚汁・焼き芋を無料サービスして協力。

体育館の中では防災・非常持出品などの展示のほか、中京学院大学の学生が考案した避難所等でも出来る簡単体操の発表、マンドリンやギター演奏、理学療法士の講演も行われました。



中学生ボランティアも非常食の無料配付



●西小学校2年生「地域探検 わたしたちの町を知ろう」

11月21日、引率の先生と西地区にあるイエローハット・トヨタネット・市川製茶・加藤製作所・子育て支援センターほっとけーきになどの行先ごとに分かれて、それぞれの事業所でどんな仕事をしているか、詳しく教えていただきました。見守り散歩隊もボランティアの方とペアになって、子どもたちの前後を一緒に歩きながら見守りました。



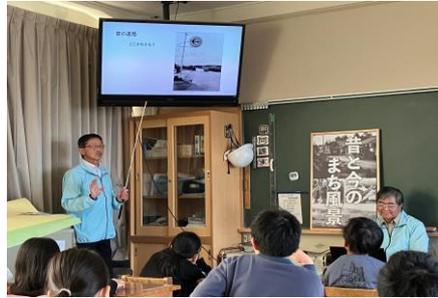
●小学校3年生に「昔の中津川」というテーマで授業

11月8日、西小学校との地域学校協働活動として3年生の各クラスに約60年前の画像を中心に道路や鉄道、産業、風景駅周辺の様子、そしてドローン映像も加えてお話ししました。

昔の画像で「ここはどこ？」を当てたり、根の上高原や中津川上流(川上)でのスケート画像で温暖化も考えてもらいました。



西小学校上空からドローン撮影



木造の校舎 だるまストープで当番があった



幼稚園は「あお、あか、きいろ」組



西小6年の時1クラス48人だった



工場・コンクリートの道路・駅前風景・スポーツセンター



《子どもたちの声》

- ・昔はこんなだったの！
- ・きょうな写真をありがとうございました。
- ・一クラスに48人もいたり、全校で千人以上もいたことにびっくりした。
- ・校舎が木でできていたり、汽車とか町もかわっていて、おもしろかったです。



●市から中津西まちづくり協議会に交付された地域一括交付金で「協働の生活環境づくり」

今年度からまち協では、身近な生活の困りごとへの対応や利便性向上のため、希望された区に必要資材等を提供し、地域の皆さんの協力で安価で短期間に出来る取り組みを始めました。今後も西地区区長会を通じて実施していきますので、地域の様子を見てご検討ください。



画像は、区内の掲示板補修やクラブのベンチづくり、倉庫の塗装の様子です



●中央公民館講座「大人の社会見学 ～文化財編(西地区)～」をサポート

中津西地区内の文化財や史跡などを巡るということで、まちづくり協議会がコースづくりと資料提供を行い、11月16日当日はサンライフで受付、約3時間の行程を参加者と一緒に行きました。主なコースは →小石塚立場・嵐讃岐の供養碑→上用水碑→一里塚→双頭一身道祖神→苗木道分岐→青木稲荷神社・秋葉神社→馬頭観音(石屋坂)→榊形・高札場→こでの木坂→設楽牧童句碑→上用水源泉→シデコブシ群生地→サンライフに戻って解散です。



詳しい説明は、市文化振興課の清水学芸員が担当してくれて、参加者の皆さんは熱心に説明看板や資料を見て、質問されていました。

●中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会の動きです

中津西地区には「環境センター・リサイクル施設・最終処分場」がありますが、中津川市と恵那市のごみ処理施設はどちらも供用開始から20年以上が経っていますので、両市は令和4年3月に「ごみ処理広域化の推進に関する基本合意書」を締結し、令和6年7月から両市の副市長や関係部長、有識者などで構成する検討委員会で協議や先進地視察を行っています。



中津川市環境センターでの会議の様子

会議は原則公開となっていましたので、中津西まち協では9月・11月の会議を傍聴しました。令和15年度に施設の稼働を目指して話し合われている大きな方向性は次の通りです。

- ◆ 整備用地決定は行政主体でなく、公募要件を設定しての「公募型」とする (R7/4~7)
- ◆ 両市の人口中心から10kmの範囲内で概ね2ha(20,000㎡)以上の用地を確保する
- ◆ 応募は土地がある自治会長(区長)とし、所有者の確認や地域合意があることが前提とする
- ◆ 土地の評価は3段階で行い、選定地域には地域振興策により環境整備や活性化支援を行う

検討委員会及び建設候補地選定スケジュール(予定)

項目 / 月	令和6年度												令和7年度											
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
検討委員会の内容																								
・委嘱、確認事項、現地視察(エコセンター恵那)		1回																						
・選定手法の決定、現地視察(中津川市環境センター)				2回																				
・先進地視察(最新の施設等)																								
・建設候補地評価基準(案)の検討																								
・公募要件(案)の検討																								
・建設候補地評価基準(案)の決定																								
・公募要件(案)の決定																								
・パブリックコメントの実施																								
・パブリックコメントの結果報告																								
・建設候補地評価基準、公募要件の決定																								
・建設候補地の委員会評価																								
建設候補地選定																								
・建設候補地の公募・評価・決定																								
・建設候補地評価																								
・一次・二次評価																								
・幹事会報告																								
・政策会議報告																								
・建設候補地決定(管理者報告)																								

雑がみも資源です!



雑誌にはさんたり、紙袋に入れて「雑誌」類として出してください

令和7年度中に合意形成まで含めた建設候補地決定を目指す

★公募開始
公募期間(4ヶ月) → 評価 → 決定

●中津川市がんばる地域サポート事業にむけて西地区から2つの団体が事前要望書を提出

市が創意と工夫を活かした地域づくり活動に取り組む団体を支援するこの事業では、前年9月までに要望書を出す必要があります。

最近では、「手賀野諏訪太鼓保存会」が助成を受けました。各団体は中津西まちづくり協議会の活動をキッカケに令和7年度の助成を目指しています。

皆さんの応援をよろしくお願いいたします!

※応募要領などは市のホームページをご覧ください↓

がんばる地域サポート事業とは

互いに助け合う コミュニティづくりを進めるため市民が主体となって、住民同士が「絆」を深め、各地域の創意と工夫を活かした地域づくり活動に取り組む団体を支援する市の補助制度です。

(20万円以内、最長3年間)

【対象となる活動】

- (1) 地域課題の解決など住みよい地域づくりに寄与する事業
- (2) 地域の特色を活かした地域づくりに寄与する事業
- (3) その他、地域づくりの進展に寄与する事業

[ホーム](#) > [組織から探す](#) > [市民協働課](#) > [地域づくり](#) > [市民活動](#) > [がんばる地域サポート事業](#)

Western MAMA's (うえすたん ままず)

《活動事業》 西地区子育て支援団体活動

《内容》

子供が楽しめるイベントの企画、運営、子育て世代の交流会開催や子育て支援に関する活動



「より場ごはん場 ほっかほか」チーム

《活動事業》 子ども食堂

《内容》

子ども食堂の開催、研修会、学校や主任児童委員と連携して生活困窮家庭への招待へとつなぐ

